

TPU NEWS

富山県立大学ニュース

NO. 142
| Summer | 2025



p.2-3 Close-Up県大

「県大看護学研究科はここが魅力!」

…テーマ設定が自由で研究指導が丁寧…

p.3 学長就任のご挨拶

p.4 キャンパストピックス

p.5-6 インフォメーション

p.6-7 受賞情報

p.7 人事消息

p.7 新任教員紹介

p.8 サークル紹介・スケジュール

大学院看護学研究科 博士後期課程開設、
大学院で学び・研究することの魅力を紹介じゃ!



「ドンドンマスマス 富山県立大学」
プロジェクトリーダー ドンマス教授

県大看護学研究科はここが魅力!

…テーマ設定が自由で研究指導が丁寧…

本学に大学院看護学研究科(博士前期課程)が設置されたのは令和5年4月のこと。この春、第1期生が修了して巣立つとともに、博士後期課程が開設されました。その大学院で学び・研究することの魅力を、地域看護学講座で教鞭をとる越田美穂子教授と、そこで研究指導を受ける博士前期課程2年生の笠谷奈央さんにお話いただきました。



大学院看護学研究科(博士前期課程)には、研究コースと専門看護師コースがあります。研究コースは基礎看護学、成人看護学、老年精神看護学、母子看護学、地域在宅看護学の5分野に分かれ、院生はそのうちの一つの領域を選択し、研究を進めていきます。一方、専門看護師コースでは老年看護について深く学び、修了により実務経験に応じて老人看護専門看護師の認定審査の受験資格を取得することができます。

地域看護学の研究指導に当たる越田教授は、地域看護学の分野の特徴を次のよう話します。

「地域看護学の領域は広く、公衆衛生学や公衆衛生看護学という学問がベースにあります。患者個人やその家族はもちろんのこと、地域や職場などの集団も研究のフィールドに入りますし、健康増進からターミナルまでも含みます。また公衆衛生学がベースにあることから、人を取り巻く環境なども研究対象になることがあります。ここでは柔軟で、広い視野を持つことが求められ、『地域看護学では虫の目、鳥の目、魚の目を持つことが大切』と言われています」



地域看護学講座
越田美穂子教授

研究手法を丁寧に養成

虫の目は、対象に近づいて角度を変えて複眼的に見ることです。鳥の目は、高い位置から俯瞰的に観察するこ

と。そして魚の目は、時間の流れの中で変化を見極めることです。柔軟で広い視野を培った先の進路には、県や市町村といった行政機関で地域住民の保健指導を行う保健師がありますし、健康経営をテーマにする企業が増えてきたことから、産業保健師として働き、従業員の保健指導に当たることもあります。近年では複数の企業から保健指導の委託を受けて活動する開業保健師も出てきており、活躍の場はますます広くなりつつあります。また博士後期課程に進んで地域看護学をさらに深く学び、大学等で研究活動が続けるとともに保健師養成に携わる道もあります。



博士前期課程2年生
笠谷奈央さん

笠谷奈央さんが本学看護学部を卒業したのは、令和5年3月のこと。看護師の国家試験にも合格しました。その上で、保健師の資格も取得したいと思い、看護学専攻科に進んだのです。

「私は保健師として地域の皆さんの健康づくりに役立つ仕事をしたいと思っていたのですが、関心のあった“高齢男性の孤立予防”について深く研究してみたいという思いがあり、専攻科での研究経験も活かせる今のうちに大学院に進学することを決めました」

笠谷さんは、「看護学研究科では院生と指導教授の距離が近く、指導が丁寧で、研究テーマの設定が比較的自由です」と続け、越田教授がそれを補足されました。

例えば高度なもののづくりの技術の伝承は、師匠・弟子の信頼関係の下で行われますが、看護系の、データの積み重ねや分析・評価などの一連の工程にも高度な研究手法があり、研究手法の養成にはものづくりの技術の伝承に似た一面がある、と。その上に、もともと県大の各



EAFOINS2025国際学会で
修士研究を発表した様子

学部の特徴である、「徹底した少人数教育で、教員との距離が近い」がさらに高じて、丁寧な研究指導に結びついているようです。

国際学会で発表した院生も

研究テーマの設定も他領域の大学院では、指導教授の研究テーマの一端を担うケースが多いですが、本学では指導教授の研究領域の範囲内であれば自由に選択できるとのこと。笠谷さんの研究テーマである「男性高齢者の孤立予防」も、指導教授やゼミでのディスカッションの中で絞り込まれ、先行研究の有無や進み具合などを加味した上で設定されました。

また本学看護学研究科では、他の大学院にはあまりない、院生の研究における調査等への経済的サポートも含めた支援が充実しています。「院生と伴走しながら研究を支援するのが県大看護学研究科です」と越田教授は強調しました。

この春に修了した1期生には、災害時の難病の方を対象とした個別避難計画の策定に関する実態調査をテーマに掲げ、全国の自治体の担当部署にアンケート調査を行った院生がいました。院生の、避難計画の現実的活用には課題が多いという問題意識から実態調査を行い、結果を分析しました。この研究は国内外の学会で発表され、関連の専門誌にも論文が掲載されました。

この4月、看護学研究科には博士後期課程が開設され、研究環境がさらに充実しました。笠谷さんは、「博士前期課程までに学んだことをもとに保健師として実務経験を重ねたいという希望を持っていますが、実務経験を積む中で、より良い保健師活動を探究するために、博士後期課程に進む選択も良いと思います」と語りました。

ドンドンマスマス進化する看護学研究科。ご期待ください！

学長就任のご挨拶



富山県立大学学長・工学博士

小笠原 司

本年4月に富山県立大学学長に着任しました小笠原です。

大学卒業後、筑波研究学園都市にある当時の通商産業省工業技術院電子技術総合研究所（現在の産業技術総合研究所）に15年勤め、その後、本年3月まで、けいはんな学研都市にある国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学に27年勤めておりました。この間、知能ロボットに関する研究に取り組み、ロボットに賢い動きをさせるための要素技術の研究を行ってきました。さらに、それらの要素技術を統合するシステム化技術に関する研究に取り組み、視線操縦型車椅子ロボット、受付案内ロボット、物流のためのピッキングロボットなどを研究開発してきました。

前任の奈良先端科学技術大学院大学は大学院のみの大学で、研究に注力した大学です。これに対し、富山県立大学は地方公立大学ということで、地域で活躍する人材の育成が重要なミッションです。大学の方向性は少し異なりますが、これまでの教育研究や大学運営に関わるノウハウを活用し、教職員と協力しながら、このミッションに取り組む所存です。

本学では、公立大学法人化後、学部の新設により、工学部、情報工学部、看護学部の三学部体制が整ったところ です。これらの組織を礎に、最先端的教育研究とそれに根差した理系人材の育成に取り組んでゆく覚悟です。

そして、人材を地域に定着させるためには、これまで以上に、産官学の連携が求められます。また、看工連携といった学部の垣根を超えた融合研究が必要になります。人材教育についても融合分野に対応できる人材が求められています。さらに、スタートアップ人材教育、リスキリング教育など、組織が連携した取り組みが求められています。地域連携を深め、これらに積極的に取り組みたいと考えています。

情報リテラシーを習得し、国際感覚を持ち、変化に柔軟に対応できる人材、そのような県立大学卒の人材が富山県、北陸地方でドンドンマスマス活躍することを目指して、教職員と教育研究を進めてゆきますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

看護学研究科
WEBサイト▶

看護学研究科
選抜要項・
募集要項

▶博士前期課程 ▶博士後期課程

学内合同企業研究会

12月7日(土)～12月8日(日)に、対面で、学内合同企業研究会を開催しました。この企業研究会は、令和8年3月卒業・修了予定の学生が、企業の業種・職種等について研究し、採用スケジュール等について企業の人事担当者から情報収集を行うもので、2日間で延べ373名の学生及び計338社の企業が参加しました。



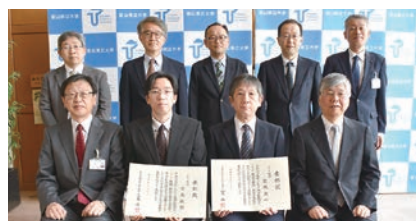
名誉教授称号授与

本年3月31日に退職された前学長の下山勲氏、前本学教授の川上智規氏及び佐伯和子氏に、その功績を称え、開学記念日の6月1日付けで名誉教授の称号が授与されました。下山氏は第7代学長として豊かな経験に基づき卓越した指導力をもって本学の教育、研究の向上に尽力されました。川上氏は33年にわたり本学教員として勤務し、主任教授や附属図書館長として尽力されました。佐伯氏は看護学部長等を歴任され、看護学専攻科や大学院の開設に多大な貢献をされました。



永年勤続表彰

永年にわたり本学の発展に寄与された功績を称え、永年勤続表彰式を6月2日(月)に行いました。30年勤続では、川崎正志准教授(当日欠席)、20年勤続では、生城真一教授、宮島敏郎准教授が表彰されました。



令和6年度 学位記授与式・修了式

3月22日(土)、アルビス小杉総合体育センターにおいて、令和6年度学位記授与式・修了式が行われ、工学部の卒業生343名、看護学部の卒業生117名、大学院の修了生126名と看護学専攻科の修了生26名が新たな一歩を踏み出しました。式では、



各学科の成績優秀な学生1名にベストチューデント賞が贈られました。

【受賞者一覧】

工学部機械システム工学科 — 松本 隼人
工学部知能ロボット工学科 — 重杉 健士朗
工学部電気電子工学科 — 坂野 秀真
工学部情報システム工学科 — 堀田 歩那
工学部環境・社会基盤工学科 — 遠藤 心知子
工学部生物工学科 — 林 なずな
工学部医薬品工学科 — 伊東 実保
看護学部看護学科 — 寺井 理乃

令和7年度 入学式

4月7日(月)、アルビス小杉総合体育センターにおいて、令和7年度入学式が行われ、741名の新しい学生を迎えました。式では、小笠原司学長が式辞、新田八朗知事が祝辞を述べられました。

新入生を代表して工学部の高野友伽さん、情報工学部の和泉孝太郎さん、看護学部の木村帆花さんが誓詞を述べました。



バイオ医薬品人材育成講座の開設

R7年3月に富山県と寄附講座開設の協定を交わし、R7年4月より本学にバイオ医薬品人材育成講座が開設されました。R7年5月からは県内製薬企業の新卒～3年目程度の社員を対象とした「新卒教育プログラム」が開始されており、その他のプログラムも準備を進めています。R8年度からは学生に向けた講座も開設予定で、バイオ医薬品製造の人材養成を目指しています。

大谷米太郎記念基金事業による大谷米太郎記念賞及び大学院修学奨学金授与式の開催について

大谷米太郎記念基金により平成27年度から実施している大学院修学奨学金について、令和3年度から大谷米太郎記念賞を設け、副賞として奨学金を授与しています。

令和6年度の大谷米太郎記念賞の授与式は、去る3月22日(土)に挙行された学位記授与式に併せて行われ、6名の大学院生に、下山勲学長から表彰状と奨学金の目録が授与されました。

大谷米太郎記念基金は、本学の前身の県立大谷技術短期大学の開学に多大な貢献をされ、郷土愛にあふれ、鉄鋼・ホテル・流通業の分野で大きな業績を残された本県出身の実業家の大谷米太郎翁が出捐・設立された財団の残余資産をもととした基金です。翁(故人)やご子孫の願いを踏まえ、優秀な人材を育成するための学生支援事業として、本学大学院博士前期課程及び修士課程を優秀な成績で修了する2年次生を対象に、その功績を讃えるとともに奨学金を授与することとしています。

今回、奨学金を受けられた皆さんには、学生

の模範として一層勉学に励まれ、優秀な研究者や技術者として活躍されることを期待します。

本学も、学生の皆さんの励みとなるよう、今後とも本事業による支援を続けてまいります。



大谷講堂前の石碑寄贈

令和7年3月27日(木)に、本学OBの今井秀昭氏から、本学の前身である富山県立大谷技術短期大学の初代学長を務めた、故谷安正氏の座右の銘である「技には厳しく 心は寛やかに」を記した石碑を寄贈いただきました。寄贈いただいた石碑は大谷講堂前に設置されています。



Information 1

「公立大学法人富山県立大学安否確認システム (ANPIC)」

●安否確認システム (ANPIC) について

本学では「公立大学法人富山県立大学安否確認システム (ANPIC)」を導入しています。富山県内で「震度5弱」以上の地震が発生したときは、あらかじめ学生の皆さんに登録していただいているメールアドレス等にANPICから安否確認メールが自動送信され、受信した学生は安否状況を報告することになっています。

上記以外の災害発生時等においては、発生した災害による影響を鑑み、必要に応じて大学の管理者が手動でメール配信を行います。

●安否検索

ANPICでは、ご家族が、本学の学生の安否情報を検索して、確認をすることができます。

電話でのお問い合わせには、時間がかかる場合がありますので、ご家族の方は、できるだけ【ANPICログインサイト】のURL※にアクセスして、安否検索をご利用くださいますようお願いいたします。なお、安否情報は、平常時は非公開に設定しています。大規模災害時にご家族が学生及び教職員の安否を確認できるよう一時的に公開します。

※本学のホームページの安否確認システムのサイトに掲載しています。

Information 2

博士の学位授与報告 令和6年度において、4名の方が博士 (工学) の学位を授与されました。

学位申請者	専攻名	論文題目	授与日
かに こうだい 可児 晃大	総合工学専攻	メタボリックシンドロームおよび脂肪性肝炎の病態形成における自然免疫と腸内細菌叢の研究	R7.3.22
まつざき じん 松崎 仁平	総合工学専攻	社会システムに対する数理計画に基づくシミュレーション技法に関する研究	R7.3.22
まつやま みゆき 松山 実由規	総合工学専攻	観測ロケットによる電場観測を用いた中緯度電離圏プラズマ調査に関する研究	R7.3.22
たかた こうじ 高田 耕児 (R6.3.31 満期退学)	総合工学専攻	射出成形マイクロ流体デバイスによる脂質ナノ粒子作製および細胞分離技術の開発	R7.3.22

Information 3

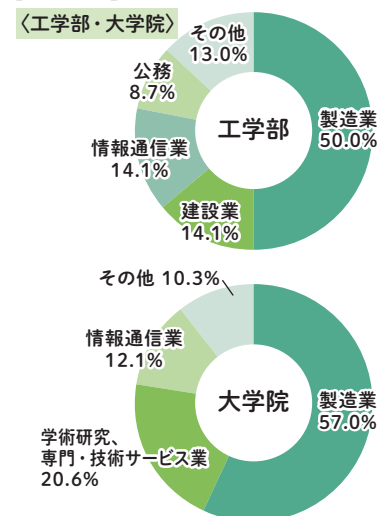
令和6年度卒業・修了生進路状況 (令和7年3月31日現在)

	卒業・修了者数	就職者数	進学者数		
			うち県内就職	うち本学大学院等	うち本学大学院等
工 学 部	343 (66)	184 (36)	84 (18)	153 (29)	153 (29)
機械システム工学科	64 (1)	31 (1)	10 (0)	33 (0)	33 (0)
知能ロボット工学科	57 (7)	20 (3)	7 (1)	34 (4)	34 (4)
電子・情報工学科	41 (2)	26 (2)	13 (1)	13 (0)	13 (0)
情報システム	47 (7)	27 (5)	13 (1)	19 (1)	19 (1)
環境・社会基盤工学科	56 (9)	39 (5)	14 (2)	17 (4)	17 (4)
生物工学科	39 (19)	23 (10)	13 (6)	16 (9)	16 (9)
医薬品工学科	39 (21)	18 (10)	14 (7)	21 (11)	21 (11)
看護学部 看護学科	117 (109)	91 (83)	51 (47)	23 (23)	19 (19)
大学院工学研究科博士前期課程	114 (14)	107 (12)	26 (4)	6 (2)	6 (2)
機械システム工学専攻	26 (2)	25 (1)	6 (0)	1 (1)	1 (1)
知能ロボット工学専攻	20 (1)	19 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (0)
電子・情報工学専攻	22 (0)	22 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)
環境・社会基盤工学専攻	19 (2)	18 (2)	3 (1)	0 (0)	0 (0)
生物・医薬品工学専攻	27 (9)	23 (8)	8 (3)	4 (1)	4 (1)
大学院看護学研究科(※)	8 (7)	7 (6)	6 (5)	0 (0)	0 (0)
看護学専攻科	26 (26)	26 (26)	20 (20)	0 (0)	0 (0)

※有識者含む

() は女子内数

【就職状況】



〈看護学部・看護学専攻科〉

県内外の公的病院、自治体 等

Information 4

対面型オープンキャンパス2025

高校生や保護者の皆様などにキャンパスを開放し、本学への関心・理解を深め、進路選択の一助としていただくことを目的に、対面でのオープンキャンパスを開催します。

●日時

7月20日(日) 【工学部・情報工学部】 9:00～(受付8:30～)

7月27日(日) 【看護学部】 10:00～(受付9:30～)

8月 8日(金) 【工学部・情報工学部】 9:00～(受付8:30～)

【看護学部】 10:00～(受付9:30～)

●会場：富山県立大学 【工学部・情報工学部】射水キャンパス

【看護学部】富山キャンパス

工学部・情報工学部 高校生向けコース

- 【工 学 部】(Ⅰ) 機械システム工学科
(Ⅱ) 電気電子工学科
(Ⅲ) 環境・社会基盤工学科
(Ⅳ) 生物工学科 医薬品工学科

- 【情報工学部】(Ⅴ) データサイエンス学科
(Ⅵ) 情報システム工学科
(Ⅶ) 知能ロボット工学科

学部・学科紹介、模擬講義、研究室見学等

工学部・情報工学部 保護者・教員向けコース

学部・学科紹介、キャリア支援紹介、
学生発表、学内施設見学 等

看護学部

学部・学科紹介、模擬講義、学生発表、
演習体験、学内施設見学、学生相談 等

Information
5

第30回ダ・ヴィンチ祭2025を開催します!

今年も、大人気の製作教室や研究室・屋外で行う科学実験など、多彩な催しを実施します。さらに今年は第30回開催を記念し、特別企画を実施予定! 小さなお子様から高校生、保護者の皆様まで楽しんでいただけるイベントです。是非、お越しください!

★こども科学製作教室 19企画 ※原則事前申込制

おもしろ科学縁日(屋外等での科学実験の実演) 10企画

大学探検隊(学内のさまざまな研究室を探検) 19企画 その他 5企画

特別企画 でんじろう先生の一番弟子 チャーリー西村氏による
「わくわく・どきどきサイエンスショー」※全席事前申込制

- 日時 8月2日(土) 10:00~15:00 企画により開始時間が異なります。
- 場所 富山県立大学 射水キャンパス
- 参加料 無料
- その他 当日参加可能な企画も多数ご用意しております。
- 問合せ先 富山県立大学ダ・ヴィンチ祭実行委員会事務局
ホームページ <https://www.davinci-fes.net/>
TEL 0766-56-7500(内線1230) FAX 0766-56-6182 e-mail:davinci@pu-toyama.ac.jp



Information
6

キャリア支援 (就職・進学)セミナー

本学では、就職活動を控える学生及び保護者の皆様に、最新の就職状況や就職活動のポイント等をご紹介するため、次のとおり、キャリア支援セミナーをオンラインで開催します。多数のご参加をお待ちしております。

※詳細はチラシ及びHP等でお知らせいたします。(7月下旬頃を予定)

- 開催日 8月23日(土)
10:00~12:00
- 参加料 無料
- 問合せ先
事務局教務課学生係
〒939-0398 射水市黒河5180
TEL 0766-56-7500(内線1258)
FAX 0766-56-6182

受賞情報

教員の受賞

受賞日順、学科名、職位は
受賞時のもの

野田 堅太郎 准教授、塚越 拓哉 准教授、
下山 勲 学長(前)
／情報工学部知能ロボット工学科

電気学会 第41回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム
優秀ポスター発表賞ファイナリスト

複数波長を用いた光音響系によるグルコース計測 R6.11.27受賞

清水 暢子 准教授／看護学部看護学科

金沢大学ダイバーシティ顕彰 はあぞみ女性研究者賞

近赤外分光法(NIRS)の利用による認知機能低下の早期
発見のためのエビデンスの開発 R7.1.29受賞

清水 暢子 准教授／看護学部看護学科

伊藤 若菜さん、岩上 詩音さん、笹森 菜さん、若月 美歩さんと共同受賞

15th International Nursing Conference & 28th East Asian Forum of
Nursing Scholars Best Oral Presentation Awards

Social Determinants and Resilience in Hikikomori Adults: Support
Strategies to Prevent Long-term Isolation R7.2.14受賞

小林 絵里子 准教授／看護学部看護学科

コクランジャパン2024年翻訳貢献ボランティア(Top5)

2024年度コクランサマリー翻訳に対する貢献 R7.3.7受賞

太田 優一 講師／情報工学部知能ロボット工学科

IOP Publishing IOP Trusted Reviewer status

優れた査読者に送られる賞 R7.3.20受賞

野村 泰治 教授／工学部生物工学科

公益財団法人 長瀬科学技術振興財団 長瀬研究振興賞

将来の科学技術の発展に寄与する有機化学および生化学分野の優
れた研究に対して授与されるもの。受賞研究題目は「植物培養細胞の
エビゲノム制御による革新的物質生産技術の開発」 R7.4.25受賞

内田 慎哉 准教授／工学部環境・社会基盤工学科

館田 英里香さんと共同受賞

令和6年度土木学会中部支部研究発表会 技術賞

打撃音のスカログラムを用いた量み込みニューラルネットワークに
よる供用中の道路橋RC床版の内部欠陥探査手法 R7.5.14受賞

森藤 洋史 准教授／工学部機械システム工学科

館田 広太さんと共同受賞

日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門 分野融合研究優秀表彰

超撥水性スポンジ装備湾曲フィルムを利用したマランゴニ推進型
油分回収システムの構築 R7.6.5受賞

平倉 直樹 助教／情報工学部情報システム工学科

電子情報通信学会 複雑コミュニケーションサイエンス研究会 奨励賞

不適切コンテンツに対する注目度を抑制する模倣戦略の
効果的な適用方法 R7.6.13受賞

古澤 之裕 准教授／工学部医薬品工学科

公益財団法人三島海雲記念財団 第14回三島海雲学術賞

食物繊維による腸内環境と免疫の制御を介した疾患予防
に関する研究 R7.7.4受賞

学生の受賞

学科名、学年、指導教員の
職位は受賞時のもの

館田 英里香 工学研究科博士前期課程環境・社会基盤工学専攻1年

2024年度ホクコン・フィナンソロビー「安心のカタチを造る」Award

指導教員: 准教授 内田 慎哉 R7.1受賞

伊藤 若菜、岩上 詩音、笹森 菜、若月 美歩

看護学専攻科公衆衛生看護学専攻1年

清水 暢子准教授と共同受賞

15th International Nursing Conference & 28th East Asian Forum of
Nursing Scholars Best Oral Presentation Awards

指導教員: 准教授 清水 暢子 R7.2受賞

藤下 龍澄 工学研究科博士前期課程環境・社会基盤工学専攻2年

令和6年度土木学会中部支部研究発表会 優秀発表賞

指導教員: 教授 呉 修一 R7.3受賞

千田 倫也 工学部環境・社会基盤工学科4年

令和6年度土木学会中部支部研究発表会 優秀発表賞

指導教員: 教授 呉 修一 R7.3受賞

森本 亮 工学研究科博士前期課程環境・社会基盤工学専攻2年

令和6年度土木学会中部支部研究発表会 優秀講演者賞

指導教員: 准教授 内田 慎哉 R7.3受賞

村上 慧 工学研究科博士前期課程環境・社会基盤工学専攻1年

令和6年度土木学会中部支部研究発表会 優秀講演者賞

指導教員: 准教授 内田 慎哉 R7.3受賞

山本 美空 工学研究科博士前期課程環境・社会基盤工学専攻2年

日本機械学会北陸信越支部賞優秀講演賞

指導教員: 准教授 宮島 敏郎 R7.3受賞

安藤 麻乃 工学研究科博士前期課程生物・医薬品工学専攻1年

JST大学発新産業創出基金事業スタートアップ・エコシステム共創プログラム

R6年度 TeSH GAPファンドプログラム[ステップ1] 特別賞

指導教員: 教授 竹井 敏 R7.3受賞

森 寛喜 工学部機械システム工学科4年

日本機械学会若手優秀講演フェロー賞

指導教員: 教授 坂村 芳孝 R7.3受賞

中村 拓未(1年)、東 国広(2年)
工学研究科博士前期課程電子・情報工学専攻

2024年度電気・情報関係学会北陸支部連合大会 電気学会論文発表賞B

指導教員: 教授 吉河 武文 R7.3受賞

高野 慎之助 工学部知能ロボット工学科4年

2025年度精密工学会春季大会学術講演会 学生発表会 企業賞

指導教員: 教授 岩井 学 R7.3受賞

新村 大貴 工学部知能ロボット工学科4年

2025年度精密工学会春季大会学術講演会 学生発表会 企業賞

指導教員: 教授 岩井 学 R7.3受賞

脇谷 銀次 工学研究科博士前期課程電子・情報工学専攻1年

2024年度電子情報通信学会エレクトロニクスシミュレーション研究会
優秀論文発表賞(若手部門)

指導教員: 教授 大寺 康夫 R7.3受賞

宮崎 勇希 工学研究科博士前期課程知能ロボット工学専攻1年

教育システム情報学会学生研究発表会 優秀発表賞

指導教員: 教授 本吉 達郎 R7.3受賞

由井 大悟 工学部知能ロボット工学科4年

Autodesk Fusion 学生デザインコンテスト 2024-25 優秀賞

指導教員: 講師 松本 賢太 R7.4受賞

永末 玲央 工学研究科博士前期課程電子・情報工学専攻2年

IEEE名古屋支部国際会議研究発表賞

指導教員: 教授 吉河 武文 R7.4受賞

宮崎 勇希 工学研究科博士前期課程知能ロボット工学専攻1年

本吉 達郎教授、布施 陽太郎助教、
ミヤグマルドラム ビルグウンマ助教、澤井 圭准教授、
増田 寛之教授、高野 博之教授、高木 昇教授と共同受賞

教育システム情報学会 産学連携委員会奨励賞

指導教員: 教授 本吉 達郎 R7.5受賞

館田 英里香 工学研究科博士前期課程環境・社会基盤工学専攻2年

内田 慎哉准教授と共同受賞

令和6年度土木学会中部支部研究発表会 技術賞

指導教員: 准教授 内田 慎哉 R7.5受賞

武田 尚恭 工学研究科博士前期課程機械システム工学専攻2年

公益財団法人 マザック財団 優秀論文賞

指導教員: 講師 山田 周歩 R7.5受賞

安藤 麻乃 工学研究科博士前期課程生物・医薬品工学専攻2年

公益財団法人 マザック財団 2024年度高度生産システム優秀論文賞

指導教員: 教授 竹井 敏 R7.5受賞

人事消息

就任 (R7.4.1)	学長	小笠原 司
工学部昇任 (R7.4.1)	准教授	大嶋 元啓
	准教授	中澤 暦
	准教授	兵動 太一
	准教授	河西 文武
情報工学部昇任 (R7.4.1)	教授	高野 博史
	教授	本吉 達郎
	准教授	アントニオ オリヴェイラ スィンガレネ
	准教授	森川 大輔
看護学部昇任 (R7.4.1)	講師	崔 高超
	教授	林 静子
	教授	清水 暢子
	講師	西村 香織
工学部新規採用 (R7.4.1)	准教授	藤吉 奏
	講師	瀬戸 麗
	講師	上杉 晃生
	助教	松山 実由規
情報工学部新規採用 (R7.4.1)	助教	的羽 泰世
	助教	松山 裕典
	助教	松山 裕典
	助教	杉澤 康友
看護学部新規採用 (R7.4.1)	准教授	小宮山 陽子
	講師	大賀 由花
	講師	大西 陽子
	講師	澤武 美穂
	助教	茂野 由貴
	助教	久田 智未
看護学部新規採用 (R7.5.1)	助教	高橋 明日香
	助教	牧野 かおる
退任 (R7.3.31)	学長	下山 勲
工学部退職 (R7.3.31)	教授	川上 智規
	准教授	山崎 大介
	准教授	日比野 敦
	准教授	岩田 栄之
看護学部退職 (R7.3.31)	助教	西川 美宇
	教授	佐伯 和子
	教授	田中 いずみ
	教授	河野 由美子
	講師	二本柳 圭
	講師	大西 竜太
	助教	福村 寛子
	助教	川端 崇広

新任教員紹介

工学部



環境・社会基盤工学科／准教授 藤吉 奏

大気中の微生物（バイオエアロゾル）の動態解明に取り組んでおり、RNA/DNA解析技術を用いて気象と微生物の関係や感染症への影響を研究しています。研究成果を地域の環境保全や教育活動にも活かし、微生物と環境の相互作用について新たな知見を得られるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



教養教育センター／講師 瀬戸 麗

4月より教養教育センターに着任し、社会学関連科目を担当しています。「人びとの移動」に関心があり、移民的背景のある子どもの教育について研究しています。どうぞよろしくお願いいたします。



機械システム工学科／講師 上杉 晃生

本年4月に機械システム工学科の講師に着任いたしました。半導体材料のシリコン等のマイクロ・ナノの微細加工と、機械変形・電気・熱の複合的な物性評価・応用について研究しています。よろしくお願いいたします。

工学部



電気電子工学科／助教 松山 実由規

4月より電気電子工学科の助教に着任いたしました。観測ロケットに搭載する電場観測装置の開発、そして宇宙空間の電場の観測・解析によって宇宙で発生する現象について研究をしています。よろしくお願いいたします。



生物工学科／助教 的羽 泰世

生物有機化学講座に着任いたしました。有機合成化学を基盤としたものづくりを通じて、複雑な分子を自在に構築し、生命現象の解明や創薬に貢献する研究に取り組んでいます。よろしくお願いいたします。

情報工学部



データサイエンス学科／助教 松山 裕典

生き物の「知能」がどのように生まれるのかを知りたいと、小さな線虫を研究しています。神経活動と行動のダイナミクスを実際に計測し、得られたデータから、脳神経系のしくみを読み解くことを目指しています。



知能ロボット工学科／助教 杉澤 康友

今年度より知能ロボット工学科に着任しました。CAD/CAMやCAEを中心とした、AIの工学応用について研究しています。研究と教育の双方での地域貢献に励んでいきますので、よろしくお願いいたします。

看護学部



看護学科／准教授 小宮山 陽子

基礎看護学講座の准教授として着任いたしました。学生さん達が豊かな感性を持つ看護師に成長するよう手助けし、看護の基本である患者理解につながる研究に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



看護学科／講師 大賀 由花

私は、腎不全・糖尿病・がん領域で看護実践を行って参りました。患者さんから学ばせていただいた貴重な事柄を学生と共に深め、教育と研究に貢献していきたいと考えております。ご指導よろしくお願いいたします。



看護学科／講師 大西 陽子

4月より成人看護学急性期講座に着任いたしました。重症患者を対象としたクリティカルケア看護の研究を行っています。学生さんと共に成長できるよう教育・研究に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。



看護学科／講師 澤武 美穂

地域看護学講座に着任いたしました。教育・研究は初めてですが、保健師としての経験をもとに、地域を基盤とした活動ができる保健師の人材育成に貢献できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



看護学科／助教 茂野 由貴

本年度より母性看護学講座に着任致しました。母子が安心して暮らせる支援を目指し、研究と教育に取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。



看護学科／助教 牧野 かおる

看護教育分野に関心があります。これまで看護専門学校で教員を務めてきました。その経験を活かしながらも、新たな学びを深め、皆さんと共に教育・研究に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



看護学科／助教 久田 智未

本年度より在宅看護学講座に着任いたしました。地域で暮らす療養者とその家族の生活を看護の視点からより良くすることを目指して、教育・研究に真摯に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



看護学科／助教 高橋 明日香

地域看護学講座に着任いたしました。保健師経験を生かし、地域を見つめる視点や、地域で暮らすことの大切さを、学生の皆さんとともに学んでいきたいと思ひます。みなさんとお話できることを楽しみにしています！

